

学校支援を積極的に進めよう

～ 学校・地域・保護者が協力して見えない敵に勝つには ～

豊田市立井上小学校PTA

1 学区及び学校の概要

本校は、豊田市北西部に位置し、校区内には、名鉄三河線の最終駅である猿投駅や豊田市運動公園がある。運動公園は35.1ha、東京ドーム約7個分の敷地の中には野球場、陸上競技場、球技場などがある。野球では地区大会、サッカーでは日本代表が練習するなどスポーツが盛んに行われており、地域住民の散歩コースなど、私たちの憩いの場となっている。

創立は1985年、生徒数は521名で学校の教育目標を「自立と共生の基礎づくり」と掲げ、スローガンを「～人に優しく、自分に強い井上っ子～」として活動している。

2 研究のねらい

現在、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス。私たち井上小学校は大丈夫なのか？教室やトイレ、手すりやドアノブを教職員だけで掃除や消毒できるのか？子供たちの安全は守れるのか？と感じ、学校・地域・家庭が三位一体となって、この危機を乗り越えないかと考えた。

3 研究の方法

今回の敵は見えない敵なので、効果の判断は難しいと思うが、最終目標を感染者0人と掲げて、学校・地域・家庭の三位一体で目標達成を目指したいと思う。

4 研究の実践

(1) トイレ掃除をボランティアで実施。

ガイドラインで児童のトイレ掃除が禁止となり、先生たちだけでは対応できず保護者や地域の皆様にボランティアを要請したところ、多数の応募があったおかげで、6月・7月の毎日を約6人で編成を組み、学校にある5ヶ所のトイレを掃除する事が出来た。



(2) 傘さし登下校でコロナと熱中症から守る。

夏の時期、1番の問題は児童の登下校だ。

コロナの影響で学校が休校になってしまい授業の遅れを取り戻すために、夏休みを返上して半日授業が開始されたが、児童が下校する時間は37℃を超える猛暑となっていた。

井上小学校は、校区が広く学校から家まで1時間を超える児童もいて、猛暑の中、コロナ対策のマスクをしながらの下校は先生、保護者にとって心配の種だった。

そんな中、同じ豊田市内の童子山小学校で傘さし登校が開始された。

井上小学校も早速、傘さし登校を開始すると傘の幅でソーシャルディスタンスが取れ、マスクを外しての登下校が可能となり、コロナと熱中症から児童を守る事が出来た。



（３）登下校時の見守り活動

地域の皆様には、児童の登下校時に安全を見守ってもらえる見守り隊が存在している。

ある日、地区の見守り隊をしている方の中で、夏休みの猛暑で児童の熱中症を心配して、下校時に「お茶ある？」と声をかけ、水筒にお茶が入っていない子にお茶を入れてくださっているという話を聞き、本当にありがたく心が温まった。

常日頃から、児童の事を気にかけて活動してくださる地域の方たちによって、児童の登下校時の安全が守られているんだと感じた。

（４）臨時奉仕作業

夏休み最後の土曜日に、全保護者を対象に学校全体の除草作業を実施しているが、今回はコロナウイルス感染症防止の観点から中止を決定した。

学校には児童が自然とふれあい、昆虫の観察などができる『ふれあいの森』があるが、なるべく自然のまま放置してあるので、当然草はひどい状態だった。

そこで、臨時除草作業を決定し、一部の先生、PTA、委員会の保護者約40名で密にならないように作業範囲を決め、無事に除草作業をすることが出来た。

５ 研究外での学校支援

（１）ゆりのきボランティア

井上小学校のシンボルである「ゆりのき」。その名前に合わせて作られ活動しているのが『ゆりのきボランティア』だ。主な活動は図書室などの飾り付けで、児童を楽しませてくれる。中でも圧巻なのが、校内学芸会で使用する小道具や背景で使用する絵だ。観覧に来た人みなさんを驚かせる程の出来栄で、毎年制作には3～4ヶ月かけて完成するそうだ。

（２）危険箇所調査

年2回、安全委員会で実施している危険箇所調査がある。

4月と10月の全校一斉下校時に、委員会の保護者が児童と一緒に下校をして、通学路上に危険箇所はないか？横断旗はあるか？一旦停止の足形マークは消えてないか？確認しながら下校をする。危険箇所があれば、学校から地区の区長さんや市の担当者に連絡をして対策してもらっている。まさに三位一体で児童の安全を守っている。

６ 研究の考察

テーマとして『見えない敵に勝つには』と掲げ、自分たちなりに研究を実践してみたが、新型コロナウイルスに限らず、学校での児童全員の安心・安全を確保して維持していくには、先生方だけの力では限界がある。

地域や保護者の積極的な支援で、三位一体となり協力し合う大切さを感じた。

７ 成果と今後の課題

今回、自分がPTAとして研究に携わり、先生方の児童に対する思い、地域の皆様の児童に対する思いが本当に強く感じられ、三位一体で活動出来た事により感染者0を継続出来ている。

今後も研究実践を継続して行い、三位一体で強い絆の井上小学校を目指していきたい。